

■各担当の振り返り 20200217 現在

「東京鶴翔同窓会 49 回 事務局」

●菅井 順朗（実行委員長）

※実行委員長と会報部会長、他を担当

口述にて

●石川康博（事務局長）

※事務局長と広報部会、会場部会の一部を担当

1.初期の活動について

- ・各部会長が決まり活動に入るまでは時間差があるので、その間の活動の停滞を 4 人で防ぎ、また先行した。
- ・具体的には、「部員勧誘手紙出し」、「活動費使用ルール策定」、他。
- ・連絡調整は LINE グループを作成し、補った。

●登坂恵理（事務局次長・会計）

※事務局次長・会計と、会報部会、会場部会を担当

1.実行委員会での軽食について

- ・会の途中で全員におにぎりを配付した。（活動費使用）
[メリット] ほどよく空腹がまぎれ、議事に集中できる。
二次会での食事が減り、会費補助の金額が抑えられる。
- [デメリット] 会議の時間が長くなるかもしれない。

2.活動費の支出について

- ・活動費使用ルールに則り、節約に努めた。
- ・総会終了後、早めに会計を締めるので、必要な支出は早めに執行すべきだった。
- ・通信費を自己申告制にしたため、請求が少なかったが、事務局で金額を定めて必要と考えられる実行委員に支給するほうがよいかもしれない。

●大木 佳子（事務局次長・書記）

※事務局次長・会計と、広告部会、会場部会（食材関係）を担当

1.資料について

- ・過去の資料が各部会長だけでなく、他の係やだれでも閲覧でき、使えると良かった。
資料は Word か Excel だと加筆や修正をしやすく便利であった。

2.食材について

- ・食材などについてわからないことは、前年度担当の伊藤さん(現在事務局)に伺うとすぐに教えてくださったのでとても心強かった。

以上。